



一般社団法人  
戦災復興支援センター  
War Disaster Reconstruction Assistance Center

# WDRAC Annual Report

2023.11.25

一般社団法人戦災復興支援センター第2期 年次報告書 (2022年10月-2023年9月)

# INDEX

## 目次

---

1. 代表理事の挨拶
2. WDRACのマニフェスト
3. 第2期の歩み
4. WDRACの活動内容
5. WDRACの特徴
6. アンサングヒーローたちの活動内容ご紹介
7. 寄付について(実績)
8. 事業振り返り
9. 会計報告書
10. 三期目に向けて
11. 組織概要
12. 寄付者からのメッセージ
13. お問い合わせ

# Greetings from the Representative Director

代表理事の挨拶

## 着実な支援の実行と、継続を。

日頃よりWDRACへのご支援、ご協力を賜りありがとうございます。  
おかげさまで、無事に2期目を終え、3期目の活動を始めています。

2022年から2023年にかけて、私たちは多くの困難に直面しながらも、着実にアンサングヒーローたちを通じて支援活動を展開し、戦災に苦しむ地域への具体的な援助、被災者の方々への心のケア、そして、持続可能な復興に向けた取り組みに力を注いで参りました。

私たちの活動は、皆様の温かい支援とご協力によって支えられています。  
一人ひとりの寄付やボランティアの活動が、大きな力となり、被災地の希望へとつながっています。  
この場を借りて、心からの感謝いたします。

しかし、今年に入りパレスチナ・イスラエル戦争の再燃や、ロシアにウクライナによる侵攻、世界各地での戦争・内戦・紛争は収束の兆しが見えません。  
人道支援とそれぞれの地域での復興への道のりはまだまだ続きます。

これからも、私たちは一步一步着実に、そして長期的な視点で支援を続けていく所存です。

被災地の現状を深く理解し、必要とされる支援を的確に届けるために、  
アンサングヒーローたちとのコミュニケーションを重視しながら引き続き最善を尽くしてまいります。

最後に、これからも私たちの活動に変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共に手を取り合い、一日も早い調和がこの世界に訪れることを祈ります。



一般社団法人 戦災復興支援センター  
(WDRAC)

代表理事 長尾 彰



# Manifest

WDRACのマニフェストとは

## We support those who support.



「支援する人たちを支援すること」が私たちの目的です

彼らは、大きな組織に属さず個人として行動し、草の根のネットワークやコミュニティと連携しながら支援活動を展開しています。そして、豊かな資金や豊富な人材を抱えるわけではなく、現場での作業に忙殺されていて、「これをしてもらったら助かるのに」「お金があれば解決できるのに」「一体これからどうなってしまうんだろう」という不安を感じています。

しかし、彼らと同じようにひとりの市民として支援の後押しをすることができたらどうでしょう？「支援する人たちを支援する」ことを通じて、苦しみ傷つき困難の最中にある人たちの助けになることができるとしたら？国・言語・文化・慣習・信仰を越えて、お互いに助け合い支え合うネットワークを世界中に広げられるとしたら、どんな世界を創り出すことができるでしょうか？

「自分には何もできないことがない」と諦めたり、傷ついた人がいることをわかっていながら対岸の火事として横目で見ることではなく、「自分にもできることがある」と行動し、同じような気持ちでいる仲間たちと連帯することで、武力や暴力によって傷つけられたこの世界の調和とバランスを取り戻すことができます。

私たちが他と異なるのは、個人の意思が尊重されるフラットでオープンな組織で、少しずつ力を持ち寄り、支援活動をする人たちのニーズに応じた活動をするところです。そして、また、特定の国家・思想・信仰に偏らず、何事にも柔軟に対応し、試行錯誤を歓迎し、常にユーモアと明るさを忘れません。

私たちは、どんな理由があれ、尊厳を奪われてはならず、武力と暴力ではなく対話を通じて問題を解決していかなければならないこと、また、ひとりの小さな力も連帯を通じて大きなエネルギーや希望を生み出すことを信じています。

そして、これらを通じて、私たちは Change everything with love (愛ですべてを変えること) を約束します。



# History

## 2期の歩み

2022年10月1日  
第2期スタート

10月2日

佐久穂町での音楽と映像のチャリティイベント後援

10月3日

サイモンへ寄付の送金

11月22日

新宿丸井でイベント出展

12月9日

ドブラ=ハタ（パトリチア）へのクラウドファンディング型寄付開始

12月15日

ドブラ=ハタとオンラインによるZUMBAイベント

12月23日

ドブラ=ハタ（パトリチア）へのクラウドファンディング型寄付終了

12月24日

第1期アニュアルレポート公開

2月1日

PR Times非営利団体サポートプロジェクト採択

3月3日

在日ウクライナ大使館訪問、一等書記官と面談

3月18日

WDRAC1周年記念シンポジウム

4月8日

オレグ、WDRACヨーロッパを設立、活動開始

4月28日

ABW（サイモン）、クラウドファンディング型寄付開始

5月26日

ABW（サイモン）、クラウドファンディング型寄付終了

6月13日

代表長尾、AWSのポーランド・ウクライナでの支援活動に帯同

7月7日

WDRACヨーロッパ、EUに登録、法人として活動開始

7月13日

WDRACヨーロッパへの寄付（キーウ市内の最大の消防団と孤児院に寄付）

9月3日

オレグ（WDRACヨーロッパ）ゼレンスキー大統領第一秘書と面談

# Activities

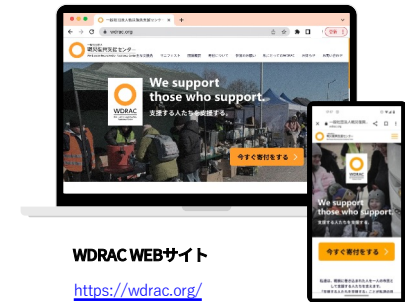
WDRACの活動内容

01

## 寄付事業

支援対象者の顔と実態が分かる活動への金銭的支援活動を実施。  
また、そのための募金活動を日本国内にて実施。

- ・寄付受付のハブとして、WDRACのホームページを公開。その中で、個人向けのスポット寄付の他、マンスリー寄付、クラウドファンディング寄付などを実施
- ・各所にて、WDRACのポスター・パンフレットの配布を実施
- ・チャリティコンサート、商品販売連動型寄付など、多様な募金方法を実施



02

## 普及啓発事業

戦災復興支援に向けての公益活動を推進・啓蒙し、  
関心やボランティア精神の涵養を図っていく活動。

- ・WDRACのホームページから、情報発信や寄付受けのハブとしていく
- ・YouTubeでのWDRAC RADIOや、TwitterなどのSNS実施
- ・イベントやセミナーの開催
- ・その他PR活動（NHK「おはよう日本」などで紹介されました）



記憶のダイアリー  
〜あの日あの頃  
第40回〜第43回

<https://www.youtube.com/watch?v=ngLbq066CvE>



“支援者を支援する”日本にいてウクライナにできることは

<https://www.nhk.jp/p/ohayou/ts/QLP4RZ8ZY3/blog/bl/pzvl7wDPqn/bp/pa7ew4vXR/D/>

# Our Features

WDRACの特徴

01

## 顔の見える支援先。密なコミュニケーション

私たちWDRACの支援先の人々は、大きな組織には属さず、個人で、草の根のネットワークやコミュニティと連携しながら支援活動をしています。私たちは、そんな彼らを「**unsung hero (アンサングヒーロー、名もなき英雄)**」と呼び、支えます。必要なときに必要な人に必要な物が効果的に届けられるように、彼らと日常的な情報共有の機会を持ち、現地でどのような対象に対しどんな支援をするか、どれくらいのコストがかかるのかを共有した上で、寄付金を決定・送金しています。

02

## 寄付はほぼ100%を現地に回す

WDRACは、学生、会社員、広報、デザイナー、教員、経営者、アスリート、アーティスト、税理士など多種多様なバックグラウンドを持つメンバーの活動によって支えられています。それぞれの専門性を活かし、仕事や学業の合間の時間を少しずつ持ち寄ること、またチーム単位での作業と連携をすることで効率の良い活動を実現することができます。日常の活動はすべてがオンライン上でのやりとりで進めることで、**無理のない活動参加を可能にし、また、低い運営費とすることが**できています。

03

## 現地の経済も回し、自立も支援する

WDRACは日本で物品を購入して現地に送ることは殆どしません。現地で活動するアンサングヒーロー達に金銭的な支援を行います。彼らは、そのお金で支援物資を購入するなどの活動を行います。そのため、**現地経済にお金が循環することになり、支援に使用した金額はほぼ100%現地復興に回っていくこと**になります。そして、自立支援へとつなげていきます。



# Unsung Heroes

アンサンングヒーローたちの活動内容ご紹介



Oleg Chernov

オレグ・チェルノさん



Patricia Kudo

パトリッチャ・クドーさん  
(写真右)



Simon Massey

サイモン・マッシーさん  
(写真左)

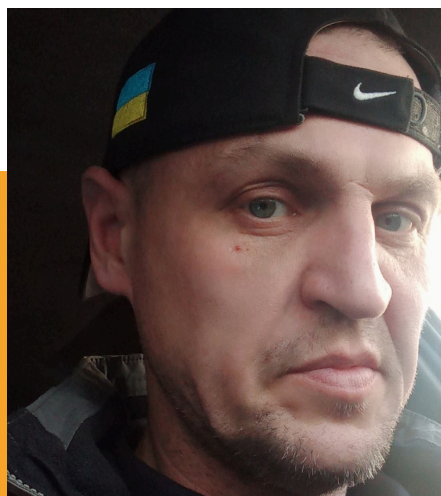


Travis Goode

トラヴィス・グードさん

# Message from Oleg Chernov

オレグ・チェルノさんからのメッセージ



Oleg Chernov

オレグ・チェルノさん

今期の支援金額合計

1,773,011 円

## WDRACコミュニティの親愛なる友人たちへ

コミュニティのメンバーひとりひとりに感謝します。  
私たちは一緒に、共通の必要かつ非常に価値のある活動を行っています。  
私たちの行動に対して、さまざまな年齢の子供たちが、深く驚いた表情で応えてくれました。  
彼らは人生に甘やかされておらず、基本的に贈り物に慣れていません。普通の子ども時代とはまったく違うのです。  
私たちは、そんな彼らの人生を少しでも明るくすることができます。  
それは、大変価値があるものです。  
受け取った寄付は、ウクライナのニーズと的を絞った援助のために支出しました。  
特に、キーウ近郊の2つの孤児院に対する重点的な支援は、大きな効果をあげることができました。  
今後もこれらの孤児院や戦争孤児・遺児のための活動が続けられるよう、資金の調達と支援の計画を含め引き続き活動を続けていきます。  
WDRACへの支援とウクライナへの関心を寄せていただくと共に、これからのパートナーシップに心から感謝を伝えます。

Oleg Chernov



WDRACの寄付により調達したパンで、病院や高齢者施設、孤児院など支援が必要な人達に支援物資を運搬



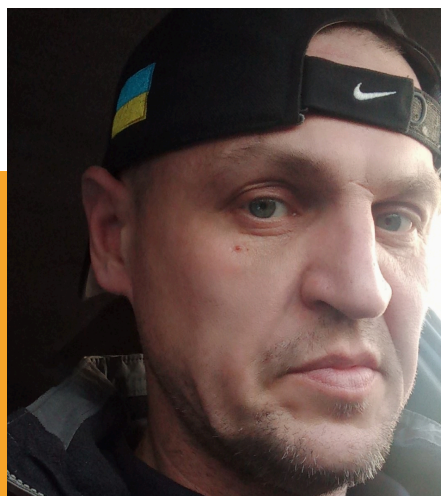
キーウ近郊の孤児院への支援活動



治療が必要な孤児のために、寄付から医薬品も調達し適切な医療が受けられるよう支援

# Introduction of Unsung Heroes Activities

オレグ・チェルノさんの活動紹介



Oleg Chernov

オレグ・チェルノさん

今期の支援金額合計

1,773,011 円

## WDRACヨーロッパを立ち上げ 家族とともに支援活動を継続中

ウクライナのキーウ在住のオレグさん。侵攻直後、ご家族は隣国の親戚のもとに避難しオレグさんは飼い猫と自宅に残りました。繰り返される長距離ミサイルやドローンでの空爆・攻撃が続く中、彼は武器を持たないかわりにハンドルを握り、病院・障害児施設・老人保健施設・孤児院など国外に退避することができない人達のために、食料や医薬品、生活に必要な物資を届け続けています。

そんな彼をサポートする上での最大の課題は、日本からウクライナの銀行に送金ができない、という課題でした。模索と協議の末、WDRACヨーロッパを設立、EUに法人登記をし、ブルガリアの銀行に口座を開くことでこれまでの個人の活動から団体としての活動にシフトしました。

国外に避難していたご家族もキーウに戻り、オレグさんと支援活動を共にしています。

戦争の長期化に伴い、孤児・遺児の数も増加の一方を辿っています。医療・教育・福祉の現場での支援ニーズが高まる中、被災者でもあり支援者でもあるオレグさんの活動を継続的に支援していきます。



WDRACヨーロッパを設立、ブルガリアでEUに法人登記



侵攻が始まる前からボランティア活動をしていた孤児院や障害児施設での活動を展開



安全に関する状況は好転せず、頻繁に避難命令が発令され、シェルターに駆け込む日々



# Message from Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさんからのメッセージ



Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさん

今期の支援金額合計

3,696,784 円

## 親愛なるWDRACメンバーへ

ルーマニアの都市、クルジュ・ナポカのウクライナ避難民センター、ドブラ・ハタから愛を込めて、心から感謝をお伝えします。

私たちのすべての活動、クルジュ・ナポカの大規模な難民コミュニティへの日々の活動や、避難民を対象とした数々のイベントや取り組みは、皆さんの大きな助けによって可能になりました。

すべてはみなさんのおかげです。

ありがとうございます。

歴史に残るような取り組みのすべてを可能にするために努力して下さった皆様に感謝します

この大きな世界でどんなにひどい破壊があっても、私たちはポジティブなエネルギーをもって平和と人類のために挑み続けます。挑み続けます

これこそが、私たちの生活におけるシンプルな真実なのです。

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



ルーマニア国内外からの多くのサポートによって活動が支えられている



ドブラ・ハタには週末には1日あたり100名程度の避難民が訪れ、そのほとんどが母子



教師やカウンセラーなど、専門職のスタッフがケアにあたる

# Introduction of Unsung Heroes Activities

## パトリッチア・クドーさんの活動紹介



Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさん

今期の支援金額合計

3,696,784 円

## 避難センター「ドブラ・ハタ」を運営、学習支援から就労支援まで幅広く活動

侵攻直後から、ウクライナからルーマニアに避難する人たちの支援を続けているパトリッチアさん。WDRACからの寄付により避難センターを開設し、これまでに延べ3,500人を越える避難民をサポートしてきました。

拠点を設けることで活動は多岐に渡り、新生児と母親のケア、治療を必要とする人たちの通院のサポート、子供たちのサマーキャンプや学習支援、日常的な食料品や衛生用品の配布、職を求める人への就労支援、心理療法家による心のケアサポートなどを精力的に実施しています。

難民センターは「ドブラ・ハタ（優しい家）」と名付けられ、その名の通り祖国を離れて暮らすことを強いられる避難民の「家」として機能しています。

ドブラ・ハタの特徴は、そこでの活動を支えるボランティアが避難生活を送るウクライナ人である点です。クルジュ・ナポカの市民のみならず、避難民も共に助け合い、支え合うコミュニティが生まれています。

しかし資金面では大きな課題があり、WDRACとしても継続的な支援を行うために、様々な工夫が求められています。



ドブラ・ハタの外観



衣類の交換会には多くの女性が集まり、情報交流の場として活用されている



学習支援の場としても使われ、専門のスタッフも常駐している

# Message from Simon & Travis

サイモンとトラヴィスからのメッセージ

ありがとう日本、今後とも共に活動を広げていきましょう



Simon Massey

サイモン・マッシーさん（写真右）

今期の支援金額合計

6,772,398 円

WDRAC、アキラ、そして日本の素晴らしいサポーターの皆さん、このプロジェクトの資金集めにご尽力いただきありがとうございます。

我々はイギリスのサイモンとアメリカのトラヴィスです。

皆様のご支援のおかげで、アクション・ビヨンド・ワーズでは、ウクライナでの活動開始以来、ポーランドで人道支援ボランティア本部を運営することができました。

この1年も皆様から素晴らしいご支援をいただき、ポーランドのメディカに拠点を設けたり、新しいバンを購入することができました。このバンのおかげで、ウクライナ全土で活動する際の支援量とボランティアの安全が驚くほど変わりました。

寄付をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

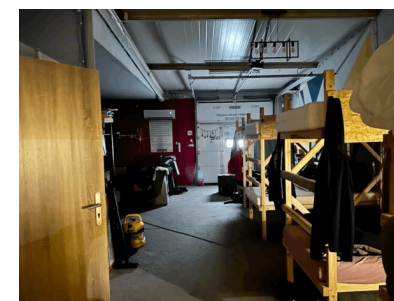
今後とも、ウクライナの人々を支援するため、共に活動を広げていきたいと思えます。



ポーランドとウクライナの国境の町、メディカの拠点は通称84と呼ばれる



11月現在、4台のバンをフル稼働してウクライナ国内を駆け巡っている



WDRACの寄付によってうんえ運営されている「84」の内部は、10人のボランティアが宿泊できる



# Introduction of Unsung Heroes Activities

アンサングヒーローの活動紹介

## NGOとしての活動をスタート、物資の運搬を中心に精力的に活動が続ける

ウクライナへの侵攻が始まり、サイモンがメディカに駆けつけ活動を始めた当初はサイモン個人の取り組みでした。そしてトラヴィスが加わり、WDRACも支援を始め半年が経った2022年の秋、持続可能な組織的な取り組みにチャレンジするために、アメリカはカリフォルニア州にNGO団体として登記、Action Beyonds Words（行動は言葉を超える）という法人名で活動を始めました。

ポーランド国境の倉庫街に拠点を設け、物資の集約と仕分け、車でウクライナ国内に入り避難所や病院、孤児院や福祉施設などサイモン持ち前の交渉能力とトラヴィスのコミュニケーション能力によりネットワークが構築され、必要とされる場所に必要とされる物が届けられるようになりました。

メディカの拠点には各国からのボランティアが集い、およそ2週間単位で活動が続けられます。活動場所の範囲は広く、ほぼウクライナ国内全域を対象とし、時には戦闘が続く場所に極めて近い場所に物資を届けに行くこともあります。イギリスやアメリカ国内においても、ウクライナへの人道支援の寄付は落ち込みを見せ、活動資金の調達が課題となっています。

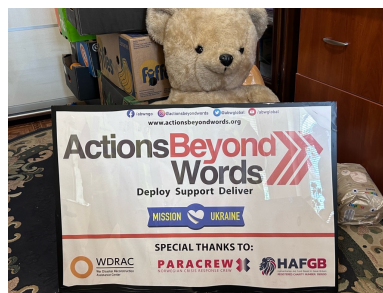


Travis Goode

トラヴィス・グードさん（写真左）

今期の支援金額合計

6,772,398 円



WDRACの寄付は彼らの手によって確実に現地に届けられている



効率的にウクライナ国内を周り、避難所までの「ラストワンマイル」を彼らが担っている



特に生鮮食品の物流は滞っているため、ウクライナ国内の避難所でも野菜のニーズは多い

# About Donations

寄付について（実績）

皆さまからお預かりした寄付金額の合計は、 **9,751,243 円**

暖かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。  
お預かりしたお金は、アンサングヒーローたちを通じ、必要な支援に充てられました。

※ 集計期間 | 寄付開始日から2023年9月30日

※ 通常の寄付は、7%を限度としてWDRACの運営費用に充てております。

## ● クラウドファンディング実績

サイモン（ABW）  
04月28日～05月26日

**84名**  
**1,117,500 円**

パトリッチア（ドブラハタ）  
12月9日～12月23日

**102名**  
**1,194,946 円**

## ● 後援イベント実績

プレイバック・シアター ワークショップ **80,000 円**  
06月18日開催  
参加者数 / 30名

音楽と映像のチャリティーイベント **58,564 円**  
10月2日開催  
参加者数 / 60名

※ 合計金額には、2022年9月に実施したサイモンクラウドファンディングの入金額を含みます

# Project Review

事業振り返り 1/2

## 01 運営体制について

運営・IT・広報・会計・コミュニケーション・通訳翻訳・情報収集・ファンドレイズの8つのチーム制で活動を開始。隔週土曜日、21時からのオンラインでの定例会、必要に応じてチーム単位でのミーティングを実施。活動の9割以上はオンライン上で行われています。  
活動当初から合議制での意思決定を重視し、活動の透明性・公益性を図るとともに、運営コストを極めて低くすることで寄付を有効に使えるよう効率を重視した組織運営をしています。



## 02 アンサングヒーローとのコミュニケーションについて

現地で活動するアンサングヒーローたちとは、日常的に情報共有の機会を持ち、現地でどのような対象に対しどんな支援をするか、そしてそれらの支援活動にどれくらいのコストがかかるのかを共有した上で、寄付金を送金しています。  
「善意の押しつけ」にならないよう、また必要なときに必要な人に必要な物が効果的に届けられるように、現地のニーズを的確に汲み取った上でアンサングヒーローたちをサポートしています。



# Project Review

事業振り返り 2/2

## 03 募金活動について

2期目はクラウドファンディングなど、募金活動を強化・推進してきました。一方で、マンスリー会員募集や、クラウドファンディング告知徹底、及び法人寄付をはじめとする寄付基盤の構築には、まだ向上の余地があります。ウクライナの復興支援もまだまだ途上であること、他地域へ支援の輪を広げていくことを考えると、特に強化していきたい領域です。今後は、佐賀県への移転に伴うふるさと納税の活用や、法人営業の仕組み構築などによって、強化していく予定です。

## 04 ボランティアについて

日々の活動は8つのチームに分かれ、およそ40名ほどが活動に参加しています。学生、会社員、教員、経営者、アスリート、アーティスト、税理士など多種多様なバックグラウンドを持つメンバーがWDRACの活動を支えています。それぞれの専門性を活かし、仕事や学業の合間の時間を少しずつ持ち寄ること、またチーム単位での作業と連携をすることで効率の良い活動を実現することができています。日常の活動はすべてがオンライン上でのやりとりで進めることで、無理のない活動参加が可能になりました。





# Financial Report

会計報告書 1/2

## 令和5年度 決算サマリー (令和4年10月1日～令和5年9月30日)

収入 **9,721 千円**

寄付金 9,708 千円  
その他 13 千円

### 【収入】

一般正味財産の部と、指定正味財産の部の受取寄付金の合計額となります。

支出 **12,865 千円**

活動支援金 12,425 千円  
広告宣伝費 81 千円  
支払手数料 323 千円  
租税公課 35 千円

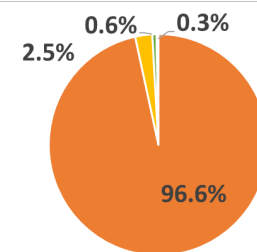
### 【支出】

全支出のうち、97%がアンサングヒーロー達への活動支援金となりました。

✓ 活動支援金：4名のアンサングヒーローたちに、計12,425千円の支援金をとどけることができました。

### 支出内訳

活動支援金 96.6%  
支払手数料 2.5%  
広告宣伝費 0.6%  
租税公課 0.3%



収支差額 **▲3,144 千円**

### 【収支差額】

今期は支援を求める声が多く、積極的に支援をした結果、赤字の決算となりましたが、超過分は前期からの繰越金を充てており、無理のない範囲での支援を行っています。

# Financial Report

会計報告書 2/2

一般社団法人 戦災復興支援センター

令和5年度決算書

## 1 貸借対照表

令和5年9月30日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	4,252,961	7,426,276	△ 3,173,315
未収金	3,000	0	3,000
流動資産合計	4,255,961	7,426,276	△ 3,170,315
2 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	4,255,961	7,426,276	△ 3,170,315
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	41,857	68,000	△ 26,143
流動負債合計	41,857	68,000	△ 26,143
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	41,857	68,000	△ 26,143
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	4,214,104	7,358,276	△ 3,144,172
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	4,214,104	7,358,276	△ 3,144,172
負債及び正味財産合計	4,255,961	7,426,276	△ 3,170,315

## 2 正味財産増減計算書

令和4年10月1日から令和5年9月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	13,000	0	13,000
正会員受取会費	13,000	0	13,000
受取寄付金	9,751,243	15,241,533	△ 5,490,290
受取寄付金	8,830,097	13,741,368	△ 6,911,271
受取寄付金振替額	2,921,146	1,500,165	1,420,981
雑収益	84	25	39
受取利息	64	25	39
経常収益計	9,764,307	15,241,558	△ 5,477,251
(2) 経常費用			
事業費	12,830,471	7,768,388	5,062,083
活動支援金	12,425,532	7,288,536	5,138,996
広告宣伝費	81,400	280,236	△ 198,836
支払手数料	323,533	201,614	121,925
管理費	35,008	157,896	△ 122,888
租税公課	35,008	35,003	5
新聞図書費	0	11,143	△ 11,143
支払手数料	0	111,750	△ 111,750
経常費用計	12,865,473	7,928,282	4,939,197
当期経常増減額	△ 3,101,172	7,315,276	△ 10,416,448
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,101,172	7,315,276	△ 10,416,448
一般正味財産期首残高	7,315,276	0	7,315,276
一般正味財産期末残高	4,214,104	7,315,276	△ 3,101,172
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	2,878,146	1,543,165	1,334,981
一般正味財産への振替額	△ 2,921,146	△ 1,500,165	△ 1,420,981
当期指定正味財産増減額	△ 43,000	43,000	△ 86,000
指定正味財産期首残高	43,000	0	43,000
指定正味財産期末残高	0	43,000	△ 43,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	4,214,104	7,358,276	△ 3,144,172

# Thoughts for The Third Phase

第三期目に向けて

## 基本方針

本年度は、次の3点を強化・推進します。

1. 寄付事業、特に団体・法人とのネットワークの強化
2. 戦災復興支援に向けての公益活動を推進・啓蒙
3. 戦災復興支援に携わる小規模市民ボランティア団体とのネットワークづくり

男が浜辺を歩いていると、打ち上げられたヒトデを海に投げ入れている少年がいた。ヒトデは浜辺を埋め尽くすほどの数だった。男は少年にこう尋ねた。「1つずつ投げていても、何も変わらないのではないかね？」すると少年はヒトデを手に取り、こう答えた。「こいつにとっては大きな変化さ」

支援する人たちを支援する。

WDRAC

支援する人たちを支援する。

# Thoughts for The Third Phase

第三期目に向けて

## 1. 寄付事業

災害被災者を着実に支援するために、被災地現地において実際に支援活動を行う者（以下「支援者」）を支援します。また、そのための募金活動を行います。本年度も個人向け募金活動を継続しつつ、法人向けの構築・強化を進めます。

### ・個人向けに広く寄付や協賛を募る活動

- ・ 個人向けのマンスリー寄付、クラウドファンディング寄付、ポスター・パンフレットの配布
- ・ その他、コンサート等との連携など、募金の仕方の多様化を継続実施

### ・（今期重点活動）企業・団体向けに寄付や協賛を募る活動

- ・ 企業・団体向けの募金活動などを設計し、活動を開始していく

### ・（今期重点活動）寄付者向けのコミュニケーション

- ・ 寄付活動や被災者・支援者への関心が継続していくように、寄付者へのコミュニケーションを設計・実施（報告メール、アニュアルレポート、満足度調査、等）
- ・ 当センター関与者及び寄付者の意識・行動変容に資する活動・コミュニケーション施策の検討・設計

### ・支援対象者の顔と実態が分かる活動への金銭的支援活動

- ・ 本年度の支援も、金銭的な支援及び精神的なサポートを中心とする。
- ・ 被災者に一番近い支援者に直接金銭を届けることで、中間コストを最低限にする仕組みを構築し、ノウハウを蓄積していく。





# Thoughts for The Third Phase

第三期目に向けて

## 2. 普及啓発事業

一般市民による戦災復興支援に向けての公益活動を推進・啓蒙し、一般市民や団体の戦災復興や人道支援への関心やボランティア精神の涵養を促します。

### ・インターネットや出版等による情報提供の活動

- ・ 当センターのホームページ（HP）を公開し、情報発信や寄付受付けのハブとしていく
- ・ SNSやYouTube等による情報発信を継続して行っていく

### ・人道支援活動に関する勉強会やセミナーを開催する活動

- ・ 被災地からの復興情報共有会や、当センターメンバーや有識者によるセミナーを行っていく

### ・国内外における人道支援団体と連携する活動

- ・ 被災地支援を円滑かつ効果的に行うため、国内外の非営利組織との連携を行っていく

男が浜辺を歩いていると、打ち上げられたヒトデを海に投げ入れている少年がいた。ヒトデは浜辺を埋め尽くすほどの数だった。男は少年にこう尋ねた。「1つずつ投げていても、何も変わらないのではないかね？」すると少年はヒトデを手に取り、こう答えた。「こいつにとっては大きな変化さ」

支援する人たちが支援する。

WDRAC

21

# Thoughts for The Third Phase

第三期目に向けて

## 3. 戦災復興支援に携わる小規模市民ボランティア団体とのネットワークづくり

ウクライナ戦災以外での（例えばアフガニスタン紛争、シリア内戦、イスラエル紛争、ナゴルノ・カラバフ戦争など）復興支援も対象に、現地で活動するアンサンブルヒーローたちとのネットワーク構築を図ります。

- 国内外での戦災復興支援に携わる団体への情報収集や、草の根での関係づくりの推進
- 国内での難民支援活動をしている市民団体との関係づくりの推進



# Organization

組織概要

代表理事

長尾 彰

理事

向谷 一

米岡 文土

小川 知香

松本 潤二

若木 美樹

木下 瑛博

監事

星 聡

アドバイザー

鈴木 寛（東京大学、慶應義塾大学教授）

# Messages from donated members

寄付者からのメッセージ

## アンサングヒーローに想いを託して下さったメンバーからのメッセージ



藤森 隆さん  
長野県  
会社経営者

### 経営者としてメンバー一人一人が関心を持ち続けられる支援をしていく

経営するジュエリーの会社で、お客様に1点ジュエリーをお届けする度に、100円を寄付するという社内PJを4月に始めて、これまでに3,000件30万円以上をヒーローたちに託すことが出来ました。僕を含め、会社のメンバー一人一人がウクライナや周辺の国々で、日常が戻ることを祈り耐える人々、それをわが身を顧みず助けようと活躍するヒーローたちに、毎月少しでも心の片隅で思いを寄せられる機会になるように、支援を続けていきます。



小島 有加里さん  
神奈川県  
洋菓子店オーナー

### 少しの気持ちの届く先は・・・

「寄付をする」ってちょっと気恥ずかしくて気おくれすることがありますよね。私もそんな一人です。コンビニの募金箱に入れるのも躊躇したりでも、うちのお店（洋菓子店）のワドラックの募金箱に寄付してくれる方は本当にさりげなく、少しですけどって、その少しの気持ちが集まって集まってアンサングヒーローへの大きな支援になること実感しています。



# CONTACT US

お問い合わせ

活動内容や寄付の状況などについて、様々なメディアで発信しております。



一般社団法人  
戦災復興支援センター  
(@WDRAC.official)

<https://www.facebook.com/WDRAC.official/>



WDRAC  
戦災復興支援センター  
(@wdrac)

<https://www.youtube.com/@wdrac>



WDRAC  
(@wdrac2022)

<https://www.instagram.com/wdrac2022/>



WDRAC  
オフィシャルアカウント  
(@WDRAC\_official)

[https://twitter.com/WDRAC\\_official](https://twitter.com/WDRAC_official)

メールでのお問い合わせをご希望の方は、HPにございます、プライバシーポリシーをご確認の上、お問合せページよりご連絡くださいませ。  
メールのご返信には、数日間お時間を頂戴する場合がございます。あらかじめご了承ください。 <https://wdrac.org/contact/>



**WDRAC**  
War Disaster Reconstruction  
Assistance Center

# THANK YOU

<https://wdrac.org/>

寄付はこちらから

WDRACのホームページから  
簡単にできます。

